

IT導入補助金の概要と活用方法

令和 4年 11月 30日

IT導入補助金事務局

本日の内容

- 
- I IT導入補助金（デジタル化基盤導入枠）とはなにか
 - II IT導入支援事業者（ITベンダー）の選び方
 - III 申請の方法・留意点
 - IV 「みらデジ」（デジタル化診断）のご紹介・トライアル

本日の内容

- 
- I IT導入補助金（デジタル化基盤導入枠）とはなにか
 - II IT導入支援事業者（ITベンダー）の選び方
 - III 申請の方法・留意点
 - IV 「みらデジ」（デジタル化診断）のご紹介・トライアル

IT導入補助金とは

IT導入補助金
通常枠（A・B類型）

IT導入補助金 通常枠（A・B類型）

中小企業・個人事業主のみなさまが
ITツール導入に活用いただける補助金です。



IT導入補助金
デジタル化基盤導入枠
（デジタル化基盤導入類型）

IT導入補助金 デジタル化基盤導入枠（デジタル化基盤導入類型）

インボイス制度も見据えた企業間取引の
デジタル化を支援します。



IT導入補助金
セキュリティ
対策推進枠

IT導入補助金 セキュリティ対策推進枠

高まるサイバー攻撃事案の潜在リスクを踏まえ、
サイバーインシデントが引き起こすさまざまなリスク低減を支援します。



通常枠（A・B類型）概要

Point

1

費用の1/2、
最大450万円を補助



Point

2

様々な
業種・組織形態に対応



Point

3

自社の課題にあった
ITツールが導入できる



Point

4

「IT導入支援事業者」が
申請・手続きをサポート

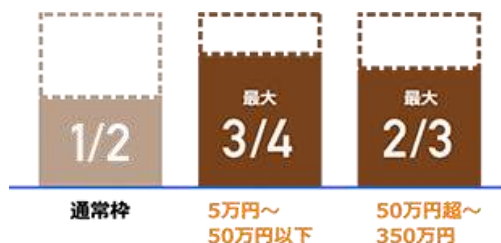


デジタル化基盤導入枠（デジタル化基盤導入類型）概要

Point

1

補助額5万円～50万円以下（補助率3/4）、
補助額50万円超～350万円（補助率2/3）



Point

2

PC・タブレット等のハードウェアに
かかる購入費用も補助対象



Point

3

会計ソフト、受発注ソフト、決済ソフト、
ECソフトに補助対象を特化



Point

4

クラウド利用料を最大2年分補助



セキュリティ対策推進枠 概要

Point

1

サービス利用料の1/2以内、
最大100万円を補助



Point

2

サービス利用料
最大2年分補助

最大2年分の補助！

Point

3

補助対象を「サイバーセキュリティ
お助け隊サービス」に特化



Point

4

独立行政法人情報処理推進機構が
登録・公表するサービス



スケジュール（締切日：2022年12月以降）

IT導入補助金 通常枠（A・B類型）	通常枠（A・B類型）	9次締切分 最終締切	締切日 2022年12月22日（木）17：00（予定）
		17次締切分	締切日 2022年12月22日（木）17：00（予定）
IT導入補助金 デジタル化基盤導入枠 （デジタル化基盤導入類型）	デジタル化基盤導入枠 （デジタル化基盤導入類型）	18次締切分	締切日 2023年1月19日（木）17：00（予定）
		19次締切分 最終締切	締切日 2023年2月16日（木）17：00（予定）
IT導入補助金 セキュリティ対策推進枠	セキュリティ対策推進枠	5次締切分	締切日 2022年12月22日（木）17：00（予定）
		6次締切分	締切日 2023年1月19日（木）17：00（予定）
		7次締切分 最終締切	締切日 2023年2月16日（木）17：00（予定）

令和4年度補正 生産性革命推進事業（IT導入補助金）

- 中小企業の業務効率化やDXを推進するため、ITツール等の導入費用を支援。
- **インボイス対応に必要なITツール**(会計ソフト、受発注ソフト、決済ソフト、ECソフト)導入を促進するため、「デジタル化基盤導入類型」において、**補助率引上げ、クラウド利用料(2年分)、PC等のハード購入補助を引き続き実施**。加えて、**安価なITツール導入も可能**とするため、**補助下限額を撤廃**(従来の補助下限値は5万円)。

枠名	IT導入補助金 通常枠		IT導入補助金 デジタル化 基盤導入枠				IT導入補助金 セキュリティ 対策推進枠
類型名	A類型	B類型	デジタル化基盤導入類型			複数社連携IT導入類型	—
補助額	5万円～ 150万円未 満 ※下限額 を 引下げ	150万円～ 450万円 以下	ITツール		PC等	レジ 等	5万円～100万円
補助率	1／2 以内	1／2 以内	～50 万円 以下 ※下限 額撤廃	50万円 超～ 350万 円	～10 万円	～20 万円	
対象経費	ソフトウェア購入費、クラウド利用費（クラウド利用料最大2年分（期間を長期化））、導入関連費		ソフトウェア購入費、クラウド利用費（クラウド利用料最大2年分）、ハードウェア購入費、導入関連費【複数社連携IT導入類型のみ】上記に加え事務費・専門家費				サービス利用料（最大2年分）

※令和4年度第2次補正予算事業については、予算成立後、準備が整い次第公募を開始します。

申請・導入の3ステップ



I IT導入補助金（デジタル化基盤導入枠）とはなにか

II IT導入支援事業者（ITベンダー）の選び方

III 申請の方法・留意点

IV 「みらデジ」（デジタル化診断）のご紹介・トライアル

IT導入支援事業者とは

- 補助金申請者（中小企業・小規模事業者等）は、IT導入補助金事務局に登録された「IT導入支援事業者」とパートナーシップを組んで申請することが必要。

パートナーシップ



IT導入支援事業者及びITツールの検索

事務局 検索ページ

中小企業・小規模事業者のみならず

IT導入補助金について

基本情報

補助対象について

申請方法

申請区分について

関連施策への取り組み

申請・手続き

IT導入支援事業者・ITツール検索

「申請マイページ」ログイン

確認・報告

交付決定事業者一覧

事業実績報告

ITツールで生産性向上!

ITツール活用事例

業種別 お悩み解決ITツール機能

IT導入支援事業者とは

補助事業を申請者とともに実施する。補助事業を実施するうえでの共同事業者（＝パートナー）を「IT導入支援事業者」と呼びます。

中小企業・小規模事業者等のみならずの生産性向上のために、ITツールの提案・導入及び経営診断ツールを利用した事業計画の策定の支援をはじめとし、各種申請等の手続きのサポートを行います。

なお、IT導入支援事業者が事務局に登録し、認定を受けたITツールのみが、IT導入補助金の補助対象となりますので、ご注意ください。

IT導入支援事業者及びITツールの検索

地域、対応業種等の検索条件により、IT導入支援事業者（コンソーシアム含む）及びその事業者が取り扱う登録済のITツールを検索できます。

なお、IT導入支援事業者として採択されている場合でも、登録済のITツールが無い場合は、検索結果には表示されませんので、ご注意ください。

IT導入支援事業者・ITツール検索

みなさまのITツール導入をサポートするITベンダー・サービス事業者を調べることができます。

※IT導入支援事業者・ITツール検索のご利用はWindows環境でのMicrosoft® Edge®、Google Chrome™の各最新版を推奨しています。推奨環境以外でご利用された場合は、表示や動作が正しく行われない可能性があります。

「IT導入支援事業者・ITツール検索」
はこちら

IT導入支援事業者及びITツールの検索

検索画面（シンプル検索）

IT導入支援事業者・ITツール検索 （コンソーシアム含む）

IT導入支援事業者（コンソーシアム含む）・ITツール検索では、「令和元年度補正・令和3年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業」において、事務局より採択を受けている「IT導入支援事業者及びITツール」を検索することが可能です。

なお、IT導入支援事業者として採択されている場合でも、登録済のITツールが無い場合は、検索結果には表示されませんので、ご注意ください。

ITツールの検索結果一覧には、PC・タブレット・プリンター・スキャナー及びそれらの複合機器は含まれませんので、ご注意ください。

販売予定ありの事業者を検索することは可能です。

※ IT導入支援事業者に関する情報は、申請者（中小企業・小規模事業者等）がITツール導入に係るお問い合わせに利用するために開示しております。本事業以外の目的で使用しないようご注意ください。

検索条件

検索結果

☒ シンプル検索 ☐ 詳細検索

IT導入支援事業者 情報

法人名・幹事社名

例) IT導入支援 株式会社 ※空欄でも可

ITツール 情報

ツール名

例) ABCツール ※空欄でも可

全ての条件をクリア

検索

IT導入支援事業者及びITツールの検索

検索画面（詳細検索）

検索条件

検索結果

☐ シンプル検索☒ 詳細検索

IT導入支援事業者 情報

共通

営業エリア

(未選択)

法人名・幹事社名

例) IT導入支援 株式会社 ※空欄でも可

コンソーシアム名

例) IT導入支援 コンソーシアム ※空欄でも可

セキュリティ認証保持事業者☐ 必須

デジタル化基盤導入枠

PC・タブレット・プリンター・スキャナー及びそれらの複合機器販売予定ありの事業者☐ 必須

POSレジ/モバイルPOSレジ/券売機販売予定ありの事業者☐ 必須

セキュリティ対策推進枠

サイバーセキュリティお助け隊サービス取り扱い事業者(カテゴリー12を登録済)☐ 必須

ITツール 情報

共通

ツール名

例) ABCツール ※空欄でも可

通常枠/デジタル化基盤導入枠 共通

取り扱い業種(複数選択可)

☐ 農業・林業・漁業向け☐ 建設・土木業向け

☐ 製造業向け☐ 情報サービス業向け

☐ 運輸業向け☐ 卸売業向け☐ 小売業向け

☐ 保険・金融業向け☐ 不動産業向け

☐ 物品賃貸業向け☐ 専門・技術サービス業向け

☐ 宿泊業向け☐ 飲食業向け

☐ 生活関連サービス業向け☐ 医療業向け

☐ 教育・学習支援業向け☐ 保育業向け

☐ 介護業向け☐ 保育業向け

☐ その他サービス業向け

☐ 上記のいずれにも分類されない業種向け

クラウド対応ツール☐ 希望

インボイス制度対応ツール☐ 希望

※ 通常枠では加算項目となります

通常枠

プロセス(複数選択可)

※ プロセスとは、改善を希望する業務工程のこと

☐ ①顧客対応・販売支援

☐ ②決済・債権債務・資金回収

☐ ③供給・在庫・物流

☐ ④会計・財務・経営

☐ ⑤総務・人事・給与・労務・教育訓練・法務・情シス

☐ ⑥業種固有プロセス

☐ ⑦汎用・自動化・分析ツール

デジタル化基盤導入枠

ITツール要件に関わる機能(複数選択可)

☐ 会計☐ 受発注☐ 決済☐ EC

☒ 全ての条件をクリア

☒ 検索

検索ツール「ここからアプリ」

- ITプラットフォーム「ここからアプリ」は中小企業・小規模事業者の方々の生産性の向上や、業務改善に役立つ情報を掲載しているウェブサイト。

ここからアプリ



トップページ

<https://ittools.smrj.go.jp/>



導入事例



IT活用特集コンテンツ

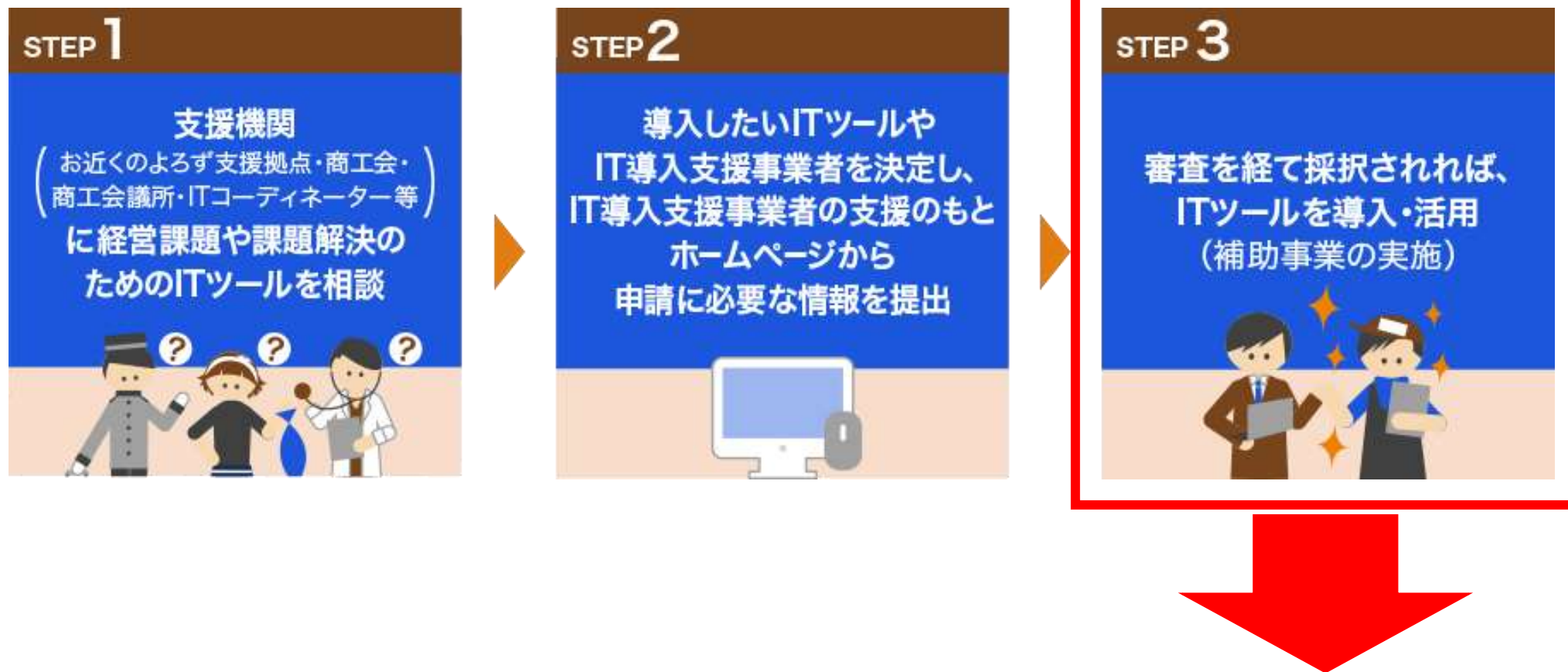
I IT導入補助金（デジタル化基盤導入枠）とはなにか

II IT導入支援事業者（ITベンダー）の選び方

III 申請の方法・留意点

IV 「みらデジ」（デジタル化診断）のご紹介・トライアル

申請・導入の3ステップ



申請フロー①（各手続の概要）

1. 本事業への理解

2. 「IT導入支援事業者の選定」「ITツールの選択」（事前準備）

- 自社の業種や事業規模、経営課題に沿って、IT導入支援事業者と導入したいITツールを選定。
- IT導入支援事業者は、右記リストの通り。https://www.it-hojo.jp/r03/doc/pdf/r3_shien_list.pdf
- そもそも誰に相談すればよいか？
→ **自身のデジタル化の課題を明確化し、情報収集・支援相談ができる**ポータルサイト「**みらデジ**」を活用。
「みらデジ経営チェック」で経営状況やデジタル化の進捗状況を可視化し、診断結果を踏まえ支援機関や専門家に無料相談が可能。
【みらデジ】<https://www.miradigi.go.jp/>

3. 「gBizIDプライム」アカウントの取得、「SECURITY ACTION」の実施（申請要件）

- 中小企業・小規模事業者等は必要。 IT導入支援事業者は不要。
- ID発行には、申請からアカウント発行まで2週間程度要することに注意。

4. 交付申請（IT導入支援事業者との共同作成・提出）

- IT導入支援事業者との間で商談を進め、交付申請の事業計画を策定。
※この時点でITツールの発注・契約は行わないこと
- 申請は以下の流れで行う。
 - ① IT導入支援事業者から『申請マイページ』の招待を受け、代表者氏名等の申請者基本情報を入力。
 - ② 交付申請に必要な情報入力・書類添付を行う。
 - ③ IT導入支援事業者にて、導入するITツール情報、事業計画値を入力。
 - ④ 『申請マイページ』上で入力内容の最終確認後、申請に対する宣誓を行い事務局へ提出。

申請フロー②（各手続の概要）

5. ITツールの発注・契約・支払い（補助事業の実施）

- 交付申請を完了し、事務局から「交付決定」を受けた後に、ITツールの発注・契約・支払い等を行うことが可能。

6. 事業実績報告

- 補助事業の完了後、実際にITツールの発注・契約、納品、支払い等を行ったことが分かる証憑を提出。
- 提出は以下の流れで行う。
 - ① 中小企業・小規模事業者等が『申請マイページ』から事業実績報告に必要な情報及び証憑の添付を行い、事業実績報告を作成。
 - ② 事業実績報告が作成された後、IT導入支援事業者が内容の確認及び必要情報を入力。
 - ③ 最終確認後、中小企業・小規模事業者等が事務局に事業実績報告を提出。

7. 補助金交付手続き

- 事業実績報告の審査が完了し、補助金額が確定すると、『申請マイページ』で補助額を確認できるようになる。
- その内容を確認した後に補助金が交付される。

8. 事業実施効果報告

- 事業終了後、生産性向上に係る数値目標に関する情報（売上、原価、従業員数及び就業時間）及び給与支給総額・事業場内最低賃金等を効果報告期間内に報告。
- 補助事業者が『申請マイページ』より必要な情報を入力し、IT導入支援事業者の確認を経て、提出。
- 詳しくは、「公募要領」参照のこと。

申請要件

- 申請要件のうち、特に留意すべき点は以下の通り。

gBizID プライムの取得【全枠】

「SECURITY ACTION」の「★一つ星」または「★★二つ星」いずれかの宣言の実施【全枠】

労働生産性の伸び率の向上に係る数値目標の作成

- 1年後の伸び率が3%以上・3年後の伸び率が9%以上及びこれらと同等以上とする【通常枠】
- 3年後の伸び率が3%以上及びこれらと同等以上とする【セキュリティ対策推進枠】
- 事業終了後2年以内に年率平均5%以上【複数社連携IT導入類型】

賃金増加への取組の実施【通常枠B類型】

- 事業計画期間において、給与支給総額を年率平均1.5%以上増加
- 事業計画期間において、事業場内最低賃金を地域別最低賃金＋30円以上の水準にする
- 申請要件を満たす賃金引上げ計画を従業員に表明

【公募要領】

通常枠：https://www.it-hojo.jp/r03/doc/pdf/r3_application_guidelines.pdf

セキュリティ対策推進枠：https://www.it-hojo.jp/r03/doc/pdf/r3_application_guidelines_security.pdf

デジタル化基盤導入枠：https://www.it-hojo.jp/r03/doc/pdf/r3_application_guidelines_digitalwaku.pdf

複数社連携IT導入類型：https://www.it-hojo.jp/r03/doc/pdf/r3_application_guidelines_digitalwaku_fukusu.pdf

審査のポイント

- 審査のポイントのうち、特に留意すべき点は以下の通り。
- どの類型においても、自社の経営課題及びデジタル化の進捗状況を適切に把握し、その課題に対してITツール・サービス等の導入効果がマッチしているかが審査される。
- そのため、**自社の経営課題の把握及び支援機関・専門家等への相談・連携が有効。**

（１）事業面の具体的な審査（事業面からの評価）

- **自社の経営課題を理解し、経営改善に向けた具体的な問題意識を持っているか**
- 自社の状況や課題分析及び将来計画に対し、**改善すべきプロセスが、導入する「ITツール」の機能により期待される導入効果とマッチしているか**

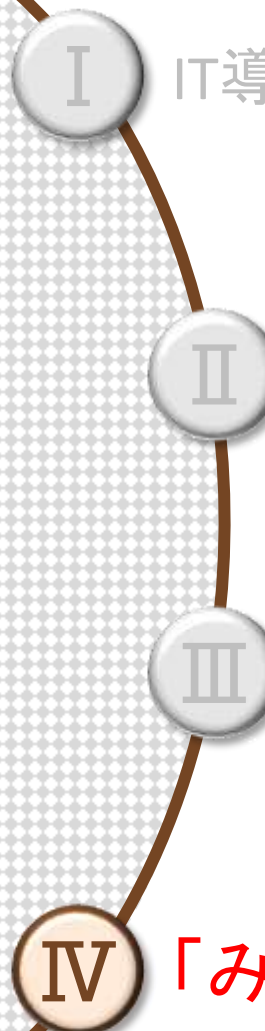
（２）計画目標値の審査（事業面からの評価）

- 労働生産性の向上率
(通常枠の場合、１年後の伸び率が３％以上・３年後の伸び率が９％以上及びこれらと同等以上)

（３）加点項目に係る取組の審査（政策面からの評価）

- 生産性の向上及び働き方改革を視野に入れ、国の推進する関連事業に取り組んでいるか
- 国が推進する「クラウド導入」に取り組んでいるか
- 国の推進するセキュリティサービスを選定しているか
- **インボイス制度の導入**に取り組んでいるか



- 
- I IT導入補助金（デジタル化基盤導入枠）とはなにか
 - II IT導入支援事業者（ITベンダー）の選び方
 - III 申請の方法・留意点
 - IV 「みらデジ」（デジタル化診断）のご紹介・トライアル

申請・導入の3ステップ

STEP 1

支援機関

(お近くのよろず支援拠点・商工会・
商工会議所・ITコーディネーター等)

に経営課題や課題解決の
ためのITツールを相談



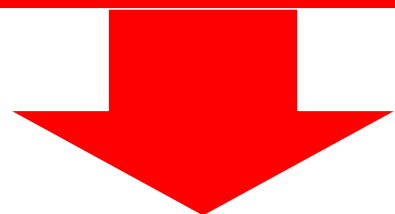
STEP 2

導入したいITツールや
IT導入支援事業者を決定し、
IT導入支援事業者の支援のもと
ホームページから
申請に必要な情報を提出



STEP 3

審査を経て採択されれば、
ITツールを導入・活用
(補助事業の実施)



「みらデジ」のご紹介

「みらデジ経営チェック」で
経営課題やデジタル化の進捗状況をチェック！



デジタル化
って難しそう...
そんな考え
変えてみせます!

企業経営の未来を変えるデジタル化、5分で始めてみませんか?

みらデジ

スマートフォン、パソコン、タブレットで
https://www.miradegi.jp/



中小企業の経営課題、「みらデジ」が一緒に解決します!

STEP 1

まずはお気軽に「みらデジ経営チェック」を受けてみませんか?

「みらデジ経営チェック」は、経営課題の解決に向けた気づきを見つけていただくためのチェックツールです。まずは、あなたの会社の経営課題や、デジタル化の進捗状況をチェックしましょう! 同地域・同業種の事業者との比較もこなえます。

インターネット環境
社内の関心度
IT・デジタルの人材確保
予算の確保

みらデジ

「みらデジ」のご紹介

「利用者登録」をすると、結果が保存されるとともに
「みらデジ リモート相談（無料）」も受けられます！

STEP 2

「みらデジ経営チェック」の結果をもとに
デジタル化をトータルサポートします！

「みらデジ経営チェック」の結果を確認後、新規利用登録をしていただくと、あなたのマイページが作られ結果を保存することができます。保存された結果をもとに、「みらデジ リモート相談（無料）」などから、デジタル化の取り組みに向けたアドバイス、各種支援施策、ITツールの解説・紹介などを受けられるようになります。

「みらデジ リモート相談（無料）」をご希望の方は、まず下記の「みらデジ事務局」までお電話ください。



STEP 3

デジタル化の方向性が定まったので、
補助金などの支援施策や成功事例の
情報を探したい！

デジタル化の方向性が定まったら、経営課題の解決を目指して「みらデジ ポータルサイト」で情報収集！ 補助金などの支援施策の紹介や、デジタル化のヒントになる成功事例など、役立つ情報を提供。豊富なコンテンツで、デジタル化の取り組みを継続してサポートしていきます。

- デジタル化支援施策のご紹介とリンク集
- デジタル化の成功事例のご紹介
- 課題解決コラム
- デジタル用語解説
- インボイス解説ページ など



令和3年度 事業環境変化対応型支援事業
(デジタル化診断事業)

みらデジ事務局

電話番号: **03-6262-6712**

受付時間: 月～土 9:00～17:00 (日・祝・年末年始除く)

✉メール: contact@miradigi.go.jp

● よくあるご質問はこちら <https://www.miradigi.go.jp/faq/>

「みらデジ」のご紹介

「みらデジ ポータルサイト」で自分で探せる。
「みらデジ 事務局」には気軽に電話で聞ける。

STEP 2

「みらデジ経営チェック」の結果をもとに
デジタル化をトータルサポートします!

「みらデジ経営チェック」の結果を確認後、新規利用登録をしていただくと、あなたのマイページが作られ結果を保存することができます。保存された結果をもとに、「みらデジ リモート相談(無料)」などから、デジタル化の取り組みに向けたアドバイス、各種支援施策、ITツールの解説・紹介などを受けられるようになります。

「みらデジ リモート相談(無料)」をご希望の方は、まず下記の「みらデジ事務局」までお電話ください。



STEP 3

デジタル化の方向性が定まったので、
補助金などの支援施策や成功事例の
情報を探したい!

デジタル化の方向性が定まったら、経営課題の解決を目指して「みらデジ ポータルサイト」で情報収集! 補助金などの支援施策の紹介や、デジタル化のヒントになる成功事例など、役立つ情報を提供。豊富なコンテンツで、デジタル化の取り組みを継続してサポートしていきます。

- デジタル化支援施策のご紹介とリンク集
- デジタル化の成功事例のご紹介
- 課題解決コラム
- デジタル用語解説
- インボイス解説ページ など



令和3年度 事業環境変化対応型支援事業
(デジタル化診断事業)

みらデジ事務局

電話番号: **03-6262-6712**
受付時間: 月~土 9:00~17:00 (日・祝・年末年始除く)

✉メール: **contact@miradigi.go.jp**

● よくあるご質問はこちら <https://www.miradigi.go.jp/faq/>

「みらデジ経営チェック」でわかること

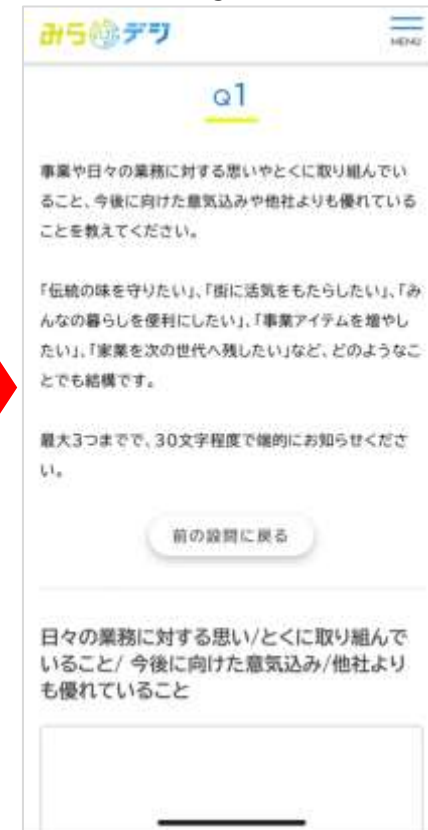
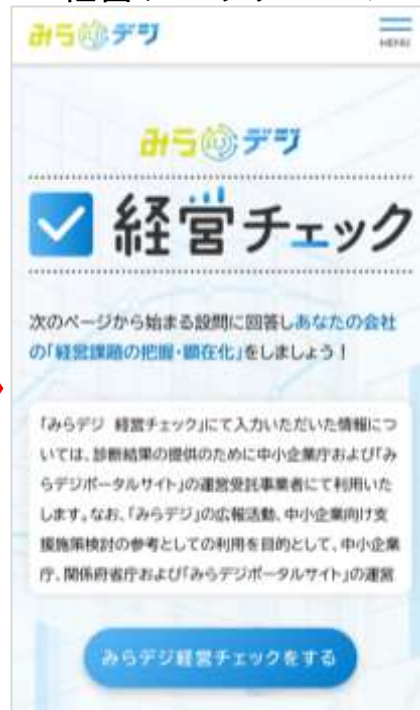
入力✓

みらデジ
TOPページ

経営チェックページ

入力画面①
基本情報

入力画面②
日々の業務に対する思い
など



「みらデジ経営チェック」でわかること

入力✓

入力画面③
実現するために
必要な取り組み

入力画面④
ITツールの
利用状況

入力画面⑤
経営課題・デジタル化
への課題

入力画面⑥
夢・ビジョンを実現
するための考え方

みらデジ

Q2

Q1で回答いただいたあなたの夢・ビジョン(思いや意気込み)を実現するために必要な取り組みとしてあてはまるものを教えてください。(それぞれ1つ)

前の設問に戻る

1 働き方の改善(残業時間の削減、賃上げなど)

重要な課題である / 与えている

課題ではある / 与えている

特に課題ではない / 与っていない

事業に関係がない

2 人材の確保(社員の採用や育成など)

重要な課題である / 与えている

課題ではある / 与えている

特に課題ではない / 与っていない

事業に関係がない



みらデジ

Q3

ITツールやデジタルサービスの利用状況について、各項目で最もあてはまるものをお答えください。(それぞれ1つ)

前の設問に戻る

1 デジタル文書作成などの情報を社内で共有できるアプリやクラウドサービス(ファイル共有ストレージサービスなど)

使っている / 取り組んでいる

取り入れてみたが使っていない

業務に必要な

使っていない / わからない

2 販売管理、在庫管理、購買管理などを行うツール(販売管理システムなど)

使っている / 取り組んでいる

取り入れてみたが使っていない



みらデジ

Q4

経営課題やデジタル化への対応について、ご自身の状況やお考えについて教えてください。(それぞれ1つ)

前の設問に戻る

1 自社の経営の計画を立て、常に見直している

あてはまる

ややあてはまる

あまりあてはまらない

あてはまらない

2 業務へのお困りごとを解決するには、ITツールやデジタルサービスをつかうなど、デジタル化が有効だと思う

あてはまる

ややあてはまる

あまりあてはまらない

あてはまらない



みらデジ

Q5

夢・ビジョン(思いや意気込み)を実現するために、どのようにデジタル化を取り入れるべきとお考えですか。AとBのどちらが、よりご自身のお考えに近いと思いますか。それぞれお選びください。(それぞれ1つ)

前の設問に戻る

1

A ITツールやデジタルサービス、システムの相談に乗ってほしい

B ITツールやデジタルサービス、システムの情報を自分で収集したい

Aに近い

どちらかというAに近い

どちらでもない / わからない

どちらかというBに近い

Bに近い

2

A ITツールやデジタルサービスを導入することのメリット・デメリットについて、数字で詳しく

「みらデジ経営チェック」でわかること

30

- **同業種・同地域の事業者と比較**しながら、事業者の経営課題やデジタル化への取組状況を確認。

結果出力

